

これまでの取組内容について

～ 目次 ～

1. 平成27年度・平成28年度の取組概要 (P.1)
2. 平成27年度・平成28年度の取り組み結果の報告
 - 2-1. 水害に強い地域づくりWGでの取り組み (P.2)
 - 2-2. 土砂災害に強い地域づくりWGでの取り組み (P.9)
 - 2-3. 防災情報WGでの取り組み (P.11)
 - 2-4. 各市町での取り組み (P.16)
3. 水防災意識社会再構築ビジョンに基づく県管理河川等での取り組みについて (P.20)

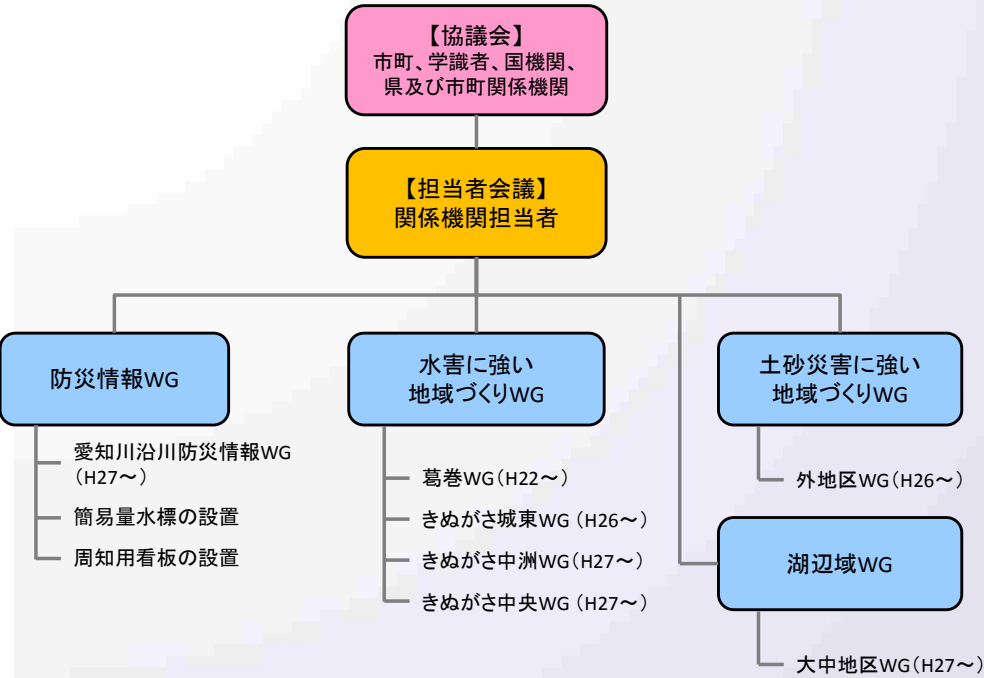
参考資料：これまでの取組経緯について (P.21)

水防法等の一部を改正する法律案について (P.24)

1. 平成27年度・平成28年度の取組概要

■実施体制

平成26年度までの検討成果及び課題を踏まえ、平成27年度以降も「水害・土砂災害に強い地域づくり」を目指して、調査検討や各種WGに取り組んだ。



■平成27年度、平成28年度の主な取り組み内容

(1)防災情報WG

・H27年度より新たに愛知川沿川防災情報WG(彦根市、東近江市、愛荘町)を立ち上げ、永源寺ダムに関する勉強会、沿川自治体における避難勧告等の発令タイミング、沿川自治体の各種取組状況について情報共有を行った。また、平成28年度には、各市町が注視している箇所や流下能力不足箇所について関係者にて現地確認を行った。(毎年度実施)

・簡易量水標を追加設置(17箇所)および管理台帳の作成・市町配布

(2)水害に強い地域づくり住民WG

・きぬがさ城東WG: 避難計画(案)作成につながる図上訓練やまちあるきを行った。
 ・きぬがさ中洲WG: 出前講座を実施し、取り組みに着手した。
 ・きぬがさ中央WG: 出前講座を実施し、取り組みに着手した。

(3)土砂災害に強い地域づくり住民WG

・愛東外地区WG: まちあるきや避難検討を行った。

(4)水防災意識社会実現に向けた取組方針の検討

・水防災意識社会実現に向けた東近江圏域取組方針(案)の作成に着手した。

■各WGにおける主な取組経緯(平成27年度～28年度)

年度	防災情報WG		水害に強い地域づくりWG		湖辺域WG	土砂災害WG
	愛知川沿川	その他	葛巻	きぬがさ地区	大中地区	東近江市外地区
平成27年度	■平成27年度 第1回WG 【実施日】H27.05.21 ・永源寺ダムの諸元について ・愛知川の水位変化に関する解説	■日野川水位設定見直し説明会 【実施日】H27.10.06 ・避難判断ガイドライン改正による愛知川水位設定見直しについて ・日野川水位に関する課題提議と協議	■第11回WG 【実施日】H27.10.06 ・H27避難訓練計画 □避難訓練 【実施日】H28.03.20	■城東地区第2回WG 【実施日】H27.12.06 ・図上訓練	■第11回湖辺域WG(大中地区WG) 【実施日】H27.06.30 ・これまでの大中地区での取り組みについて ・今後の取り組みに対する各組織の考え方について	■第1回WG 【実施日】H27.07.18 ・出前講座 ・図上訓練
	■平成27年度 第2回WG 【実施日】H27.09.02 ・避難判断ガイドライン改正による愛知川水位設定見直しについて ・平成27年度出水期前半に関する報告と協議		□避難訓練 【実施日】H27.12.06 【対象】東近江市大中町	■第2回WG 【実施日】H28.01.23 ・まちあるき ・図上とりまとめ		
	■平成27年度 第3回WG 【実施日】H27.11.26 ・避難判断ガイドライン改正による愛知川水位設定見直しについて ・平成27年度出水期に関する協議		・簡易量水標の新規(14箇所) ・簡易量水標台帳の作成・配布			
平成28年度	■平成28年度 第1回WG 【実施日】H28.08.18 ・永源寺ダムの諸元について ・各市町の避難判断等に関する情報共有	・簡易量水標の設置(3箇所) ・水位見直しに伴う周知用看板のデザイン変更(4箇所)	■第12回WG 【実施日】H28.09.29 ・H28避難訓練計画 □避難訓練 【実施日】H28.10.16	■城東地区第3回WG 【実施日】H28.07.18 ・図上訓練	□出前講座 【実施日】H29.02.27 【対象】大中の湖土改良区	■第3回WG 【実施日】H28.07.16 ・避難ルートやタイミングの設定
	■平成28年度 第2回WG 【実施日】H28.12.21 ・愛知川沿川での取り組みの情報共有 ・ネック地点および河川監視箇所の現地確認		そなえる対策については、自治会が自主的に実施している。とどめる対策については、自治会内での意見調整の状況を見ながら取組時期を調整する。	■城東地区第4回WG 【実施日】H28.11.13 ・避難訓練 ・まちあるき	■中洲地区 第1回WG 【実施日】H28.11.06 ・出前講座	■第4回WG 【実施日】H29.01.21 ・共助に関する話し合い(1月に予定していた避難訓練は降雪により中止)
				■中央地区 第1回WG 【実施日】H29.01.14 ・出前講座		

重点地区での取り組みについて

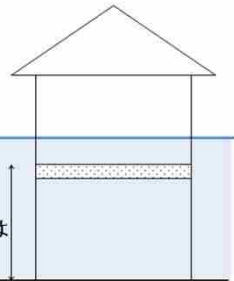
- 3m以上浸水するおそれのある区域に、家屋があるか開発の見込みがある**県内約50地区**において、これから**5年間**で取り組みをはじめるとして県の目標としている。
- 取り組み内容は、**将来にわたって安全な地域を作るため「そなえる」と「とどめる」を両輪**で進める。
- 「そなえる」は自助と共助をまとめた**避難計画**の検討。
- 「とどめる」は2階に避難しても命に危険がある区域(3m以上浸水するおそれのある区域)を「**浸水警戒区域**」として指定することを目指し、安全な住まい方のルールを検討。

3m以上浸水するところに家屋があると

- 平屋は水没する。
- 2階の床面が浸水する
- 木造家屋は浮き上がる可能性がある

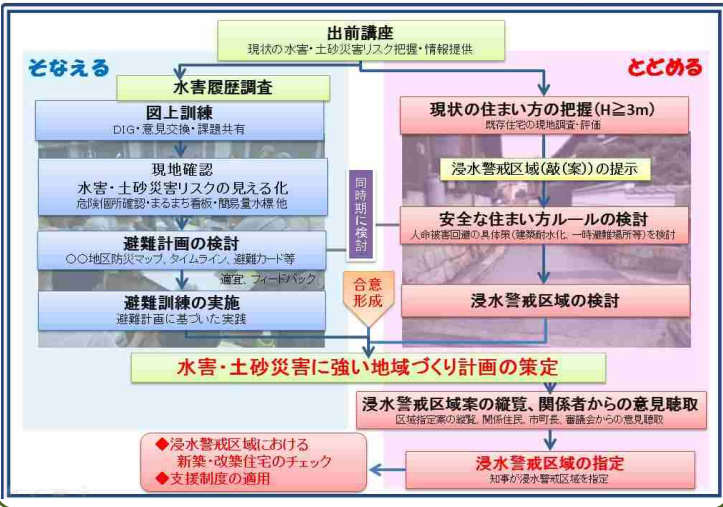
重点的に水害に対する取り組みを行う区域 = **重点地区**

通常2階建ては3m程度



水害・土砂災害に強い地域づくり計画策定の流れ

17



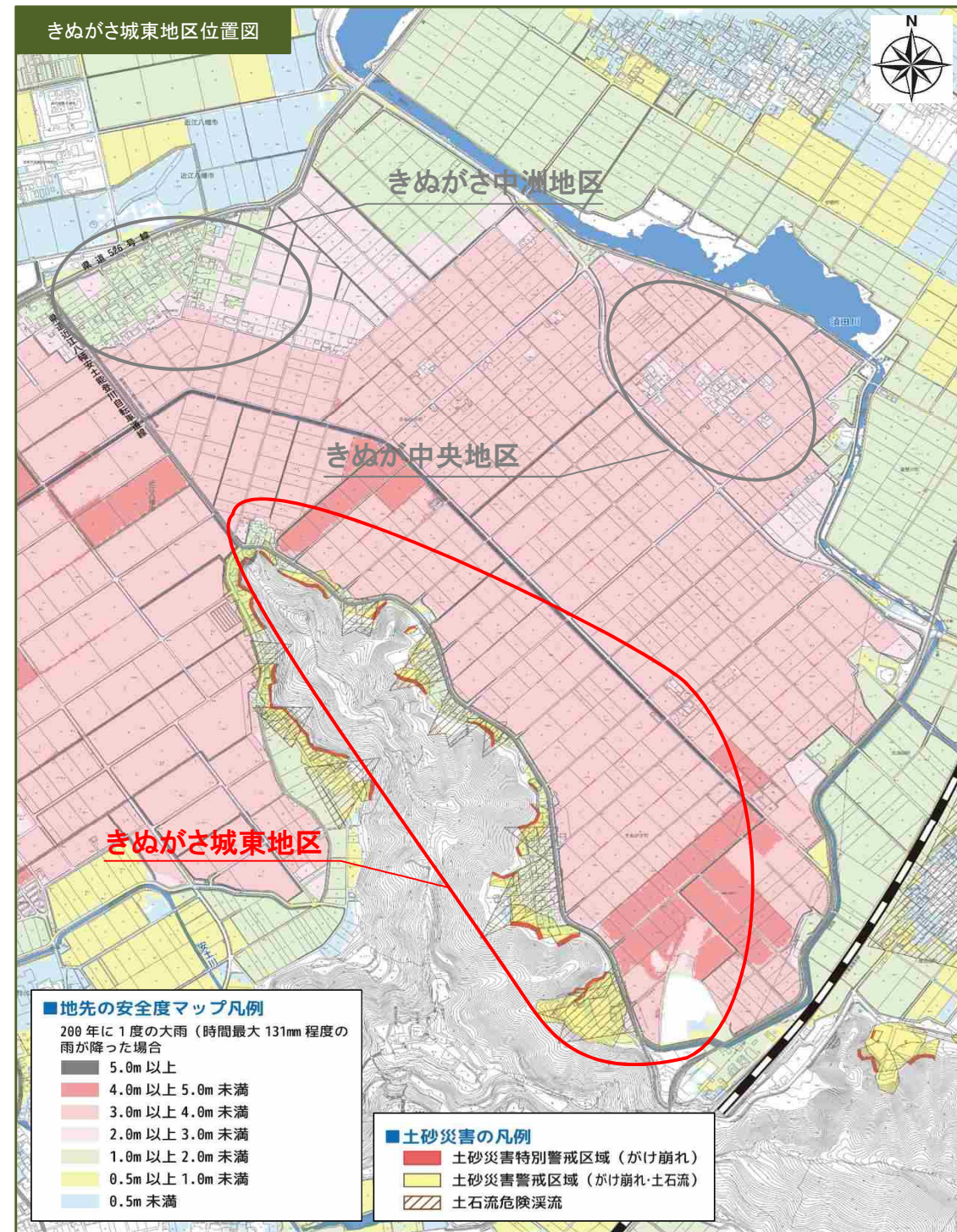
東近江圏域 重点地区の取り組み状況

市町	地区	取組開始年	取り組み状況
東近江市	きぬがさ	【城東】平成26年度 【中洲】平成28年度 【中央】平成28年度	平成26年度:【城東】出前講座(5/31) 平成27年度:【城東】R-DIG(12/6) R-DIG振り返りと今後の協議(2/7) 【中央・中洲】自治会長に取り組みの提案(2/14) 平成28年度:【城東】R-DIG(7/18)、避難訓練・まちあるき(11/13) 【中洲】出前講座(11/6) 【中央】出前講座(1/14)
	葛巻	意向照会中	平成27年度:自治会役員に取り組みの提案(12/14) 平成28年度:避難訓練への参加(10/16)
竜王町	弓削		調整中
	西横関		浸水警戒区域候補地内に人家がないため保留
近江八幡市	下豊浦		調整中
	水荃		調整中

東近江圏域における重点地区位置図



きぬがさ城東地区位置図



きぬがさ城東地区の地域特性

■地区の概要

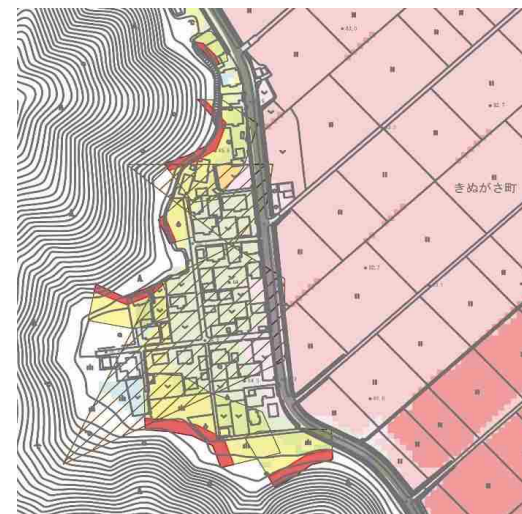
きぬがさ城東地区は西の湖や安土山の東に位置しており、36世帯156名が生活している。

■水害リスク

干拓地という地形特性から、地区内一様に水が貯まる浸水形態であり、きぬがさ城東地区の深いところでは、2階の床上以上まで(浸水深3m以上)浸水が及ぶ恐れがある。

■土砂災害リスク

地域西側の安土山には、土砂災害警戒区域・特別警戒区域、土石流危険渓流が指定されている。安土山の麓には住宅が多いことから、人命や家屋へ被害が及ぶ恐れがある。



これまでの取り組み経緯

- 平成26年度から重点地区として「水害に強い地域づくり」を目指し活動を始めている。
- きぬがさ城東地区の住民が主体となり、滋賀県や東近江市と協力しながら取り組みを進めている。

平成26年度

- ・出前講座を実施し、地区内の水害リスクや浸水警戒区域の指定を含めた取り組みについて説明した。(5/31)
- ・自治会では自主防災組織設立に向けた準備が進められる。

水害図上訓練の実施(12/6)

平成27年度

地区内の水害リスクを地図上で確認しながら避難に関する行動を整理し、課題を抽出した。

【整理した内容】

- ①避難に必要なもの
- ②避難時の問題点
- ③日頃から備えられること
- ④避難所までの経路



平成27年度

水害図上訓練の振り返りと今後の協議(2/7)

水害図上訓練の結果を確認し、今後の取り組みについて話し合った。

平成28年度の取り組みへ

平成28年度の取り組み概要

図上訓練（水害＋土砂災害）の実施

- 実施日：7月18日（月・祝）
- 会場：きぬがさ城東地区 草の根ハウス
- 参加者：地区住民25名
- 概要：地区内における水害・土砂災害を再確認し、安全かつ迅速な避難計画を検討していくため、避難行動に対する意見交換を行った。

【想定シナリオ】

- 豪雨を想定した「早逃げ」と「逃げ遅れ」

【意見交換での確認項目】

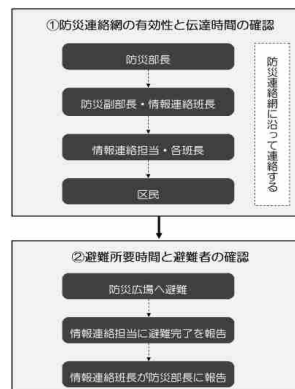
- ① 避難開始のタイミング
- ② 避難先
- ③ 避難先へのルートとルート上の危険箇所
- ④ 避難手段
- ⑤ 避難のとき地域の人に手伝ってほしいこと



結果反映

避難訓練の実施

- 実施日：11月13日（日）
- 会場：きぬがさ城東地区 防災広場
- 参加者：地区住民65名（参加率：42%（人口））
- 概要：避難準備情報の発令を想定し、地区が作成した防災連絡網による情報伝達訓練および避難訓練を行った。



危険箇所の現地確認

- 実施日：11月13日（日）
- 対象：きぬがさ城東地区 西側
- 参加者：地区住民 約20名
- 概要：図上訓練で参加者が地図に書き込んだ避難ルートやルート上の危険箇所を対象とし、まちあるきによる現地確認を行い、避難時に注意が必要な箇所などを確認した。



防災マップの作成

- 図上訓練（平成27年度、28年度実施分）で挙げられた意見や、危険箇所の現地確認で確認した情報を地図に反映し、「平成28年度版防災マップ」を作成した。

結果反映

避難カードの作成

- 自宅周辺の水害、土砂災害リスクを確認し安全な避難行動を促すことを目的に、きぬがさ城東地区の全世帯に対応した避難カード(案)を作成し、提案した。

今後の展開

- きぬがさ城東地区については、平成27年度に自主防災組織が設立され、以降、同組織において継続的に防災に関する取り組みがなされている状況である。
- 地元のペースで取り組みを進めたいとの意向が強いことから、次年度以降も地元の意向を尊重し、必要に応じて支援していくというスタンスをとる必要がある。
- 同じ重点地区でも堤防沿いの地域と比べると個々の危機感是比较的低いと感じられたので、「防災マップ」「タイムライン」や「避難カード」を活用した図上訓練や避難訓練を継続実施することが必要と思われる。
- 今後の避難計画づくりにあたっては、干拓地という地形特性を踏まえていく必要がある。
- また、隣接する「中洲地区」や「中央地区」においても同様の取り組みを進めていく予定であるので、互いに情報共有を図りながら取り組みを進めていく必要がある。